

# 1

## 《小学校低・中学年》 『ノー』というおう

～性被害について考える～（自分のからだを大切に）

### ねらい

昨今、子どもたちの性被害が急増している。家庭でも学校でも指導はしているが、子どもたちはどういふことをされるのか、そして被害を受けないためにどうしたらいいのかを具体的に聞いたり体験したりすることが少ない。ロールプレイをしながら、また絵本を通して自分のからだや命を守ることの大切さを実感させたい。

### すすめ方

| 活動の流れ  | 支援や留意点   |
|--|--|
| 1. これは、何をしているところかな？みんなは、だれにしてもらった？ そのとき、どんな気持ちだった？<br>おしりペタンだ！ お家の人にしてもらった<br>ちょっといやだった はずかしかった                                  | おしりを出すということを意識させる。<br>資料1（ぎょうちゅう検査）  |
| 2. からだを調べることだから、仕方がないけど、ちょっと恥ずかしいね。どうしてかな？<br>エッチな所だから いつも見せない所だから   | 恥ずかしいと思う子の気持ちをしっかりと受けとめる   |
| 3. からだで、いつも見せていない所は、プライベートゾーンって言うんだよ。<br>おちんちんもそうだ おっぱいもかな<br>恥ずかしい所だけど、とても大切な所だよ。   | 恥ずかしい所<br>大切な所（将来赤ちゃんをつくる時に必要な所）   |
| 4. みんなのからだには、ほかにも大切な所がたくさんあるけど、嫌なことされたことない？ その時、どんな気持ちした？<br>キックされた パンチされた たたかれた<br>すごく嫌だった 痛かった はずかしかった                         | 本時の前にプライベートゾーンについて学習すると、なお効果的<br>資料2   |
| 5. 嫌なことをされたときどうしたらいいかな。先生たちで劇をしてみるね。どれがいいかな。<br>①仕返す ②泣いてしまう ③大声でさけぶ<br>↓ ↓ ↓<br>けんかになるよ またされるよ 誰かきてくれるよ<br>大声でさけぶと、だれかがきてくれるよ！！ | ロールプレイをみせる<br>[場面] 変質者である加害者が、小学生である被害者のからだに、いやなことをする。(キックやパンチ日常的なことでもよい)<br>養教の先生などとするとよい |
| 6. 変質者の話を聞かせ、大声を出す練習をペアになってする  | プライベートゾーンをいたずらされる話など、できるだけ具体的に<br>参考資料 & 資料3   |
| 7. 絵本の読み聞かせ  |  |
| 8. 自分のからだや命は、大切なもの。それをいたずらすることは、決して許されない。でも、もしもそうなった時は、お家の人にお話しよう。みんなを守ってくれるよ。   | 被害者が責められることはないこと、その後のケアについて触れる   |

### 参考資料

おかあさんとみる性の本 「わたしのはなし」(山本直英 監修 童心社)

資料1



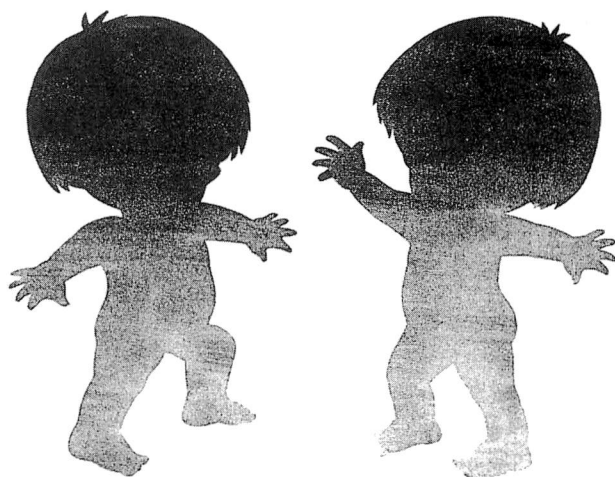
資料2

後ろ姿では、全く同じ男の子と女の子の絵を提示

- ① 後ろ姿だけでは、男女の性が分からない
- ② 【前向きにする】前向きにしても分からない  
洋服の色でも分からない
- ③ 【洋服をぬがす】パンツを脱がさないといけない
  - ・性による性器のちがひ
  - ・性器に役割

『恥ずかしいところ 大切な所』をおさえる

子どもたちとやりとりしながら  
絵を操作して、考えていく



資料3

絵本「わたしのはなし」 P.32

主人公愛ちゃんがおかあさんから教えてもらいます。  
 「わたしのからだところはこのちきゅうじょうで、  
 たったひとつのもの。だからたいせつにしなさい。」と。  
 プライベートゾーンをさわる人、のぞく人、さわらせようとする人、  
 見せようとする人、甘い言葉で誘おうとする人…  
 具体的にやさしい絵や言葉で表現しています。  
 愛ちゃんは、おかあさんのおはなしを思い出してしっかりと  
 と言えます。大きな声で「ノー」と。  
 じぶんのからだをさいしょにまもるのはわたしです。

